イカルガさんとカグヤちゃんのえちちな漫画

成人向け

本作品の取り扱いについて

・本作品は成人向けのため、18歳未満の方は閲覧を固く禁じます。

・性的描写や局所的表現がございます。苦手な方は閲覧をお控えください。

・作者の解釈、設定、表現に基づく内容であり、公式設定とは一切関係ありません。

・解釈不一致やキャラクター像の相違などに関するクレームにはお応えすることができません。ご了承の上でお楽しみください。

・無断転載、複製、アップロードは固くお断りします。

ぷくぷくアイランド

あらすじ

イカルガさんが幕府の任務で里を離れて二ヶ月、
無事に帰ってきたイカルガさんに恋人のカグヤちゃんは大喜び。
さっそく美味しいものをたくさん食べに行くデートの約束をしました。
当日、カグヤちゃんは待ちきれずにイカルガさんを迎えに彼のお家に向かいました。
しかし、なんということでしょう！
カグヤちゃんが着いた途端、大雪に見舞われて、二人はお家の中で過ごすことになってしまったのです。

ちゃぷ…

ど…どうしてこんな状況に…!?

ドキ

ドキ

ドキドキ

思わぬ事態ではあるけど　初めてお家に上げてもらえちゃった…

次のデートはイカルガさんお家ですごすというのはどうでしょうか？

いくら恋人だからとはいえ　婚前の女性を家に上げるなんて不埒なことはできません

ピシャリ

あ…そうですよね　冗談ですよ

前にお誘いした時はバッサリ断られちゃったから　ちょっと嬉しいかも…

じっ

ドキ
もん
もん
ドキ
ドキ
もん
もん
ドキ

ずっと会えてなかったんだし今日はたくさんイチャイチャしたいなぁ…
いっぱい抱きしめたいし　頭も撫でたいし　キスもたくさんしたいなぁ…

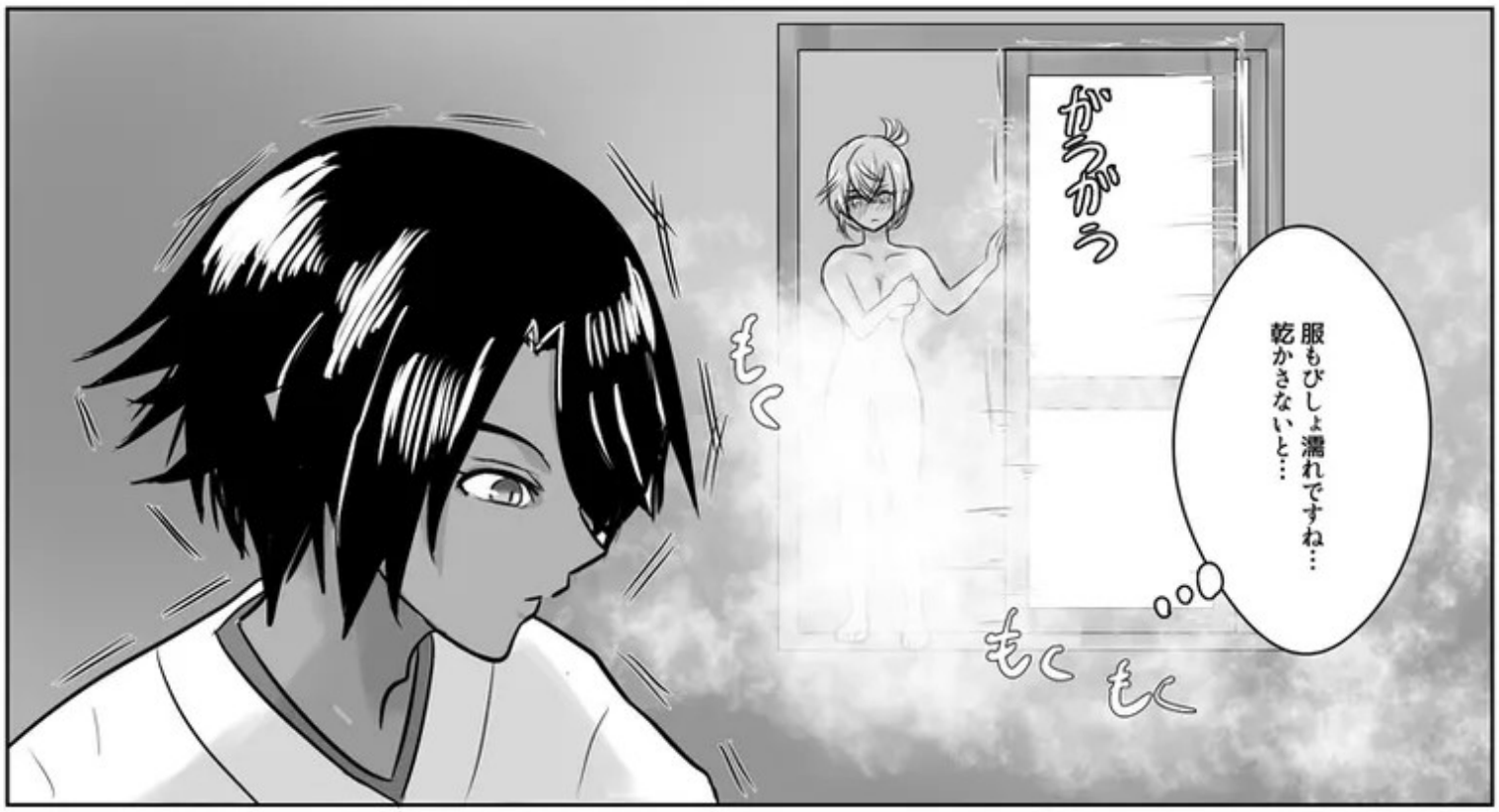
カグヤ
ひゃいっ
ドキッ
バシャッ

湯加減はどうですか？
だっ大丈夫です
バシャバシャ
カポーン
そうですかならここに湯拭いを置いておきますので
ありがとうございます

私としたことが…

待ち合わせに向かおうと玄関扉を開けたら凍えたカグヤが立っていた
ガクガク
ヒヤ
ブルブル
早く会いたくてきてしまいました…
!?

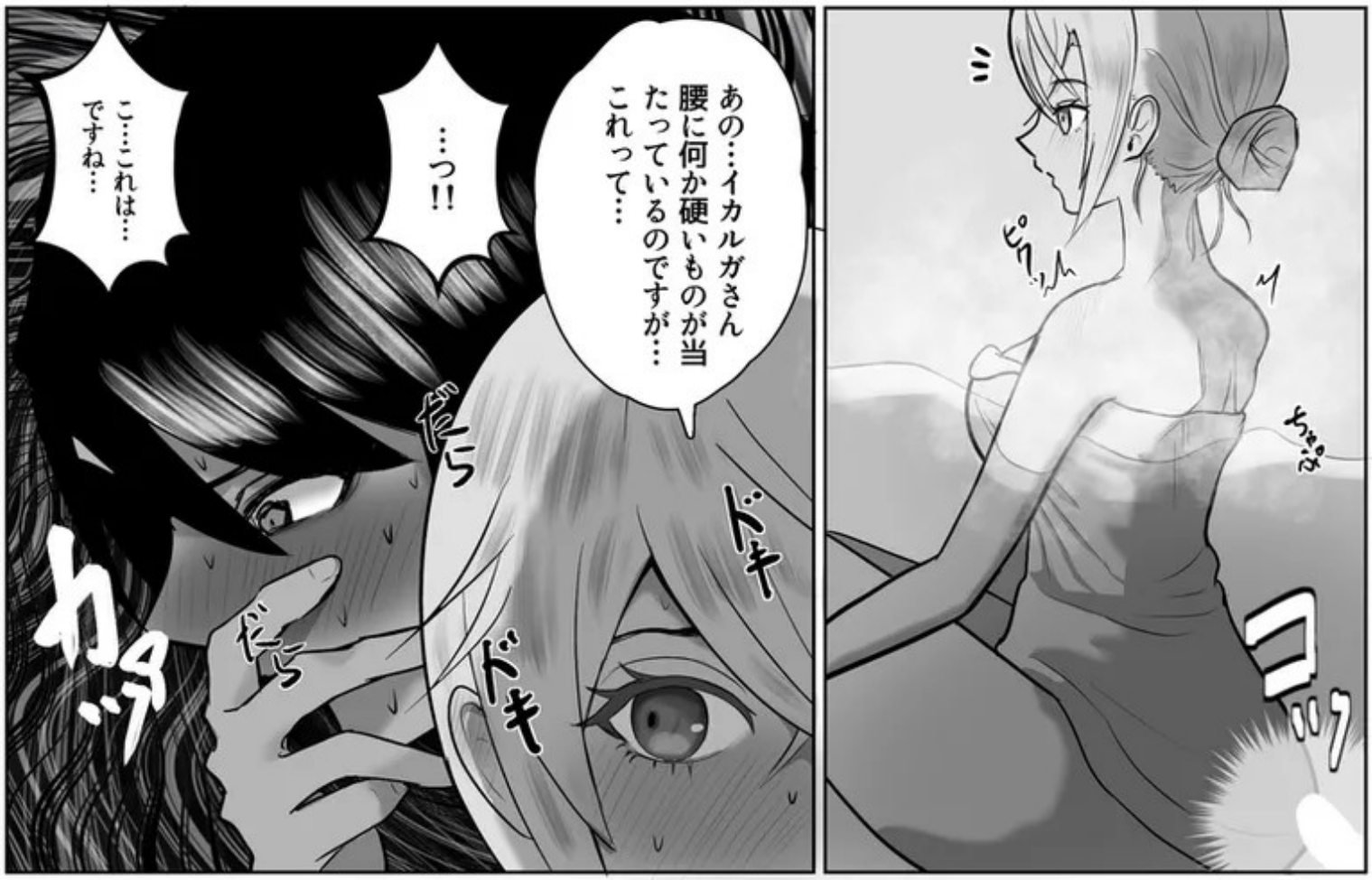
私が早く家を出ればカグヤの体を冷やさずに済んだものを…
いそ
いそ
いそ
いそ
ドタ
ドタ
ドタ
ブルブル
ブルブル
ブルブル
式神!!急いで風呂を焚くのです!!



あの…
イカルガさん…

一緒にお風呂…
入りませんか…?

婚姻前に一緒に風呂に入るなどまずい…いえ…でもカグヤには近いうちに求婚するつもりだったので少し順序が変わっただけ…いやそうではなくて夫婦となるまで決してカグヤを穢すことなく清い付き合いでいようと決めたのだからこのような状況はいいはずがないそれ
今までどれだけの誘惑に耐えてきたと思っているのです
会う度に30分間の抱擁や口付けに耐えてきたではないかいえこれはいかがわしい事ではよく考えよう裸の付き合いなのでなんの問題も…白くて綺麗な肌れてみたい頭がおかしくなりそうだ…理性保たねば
カグヤにあんな顔されたら断れるわけがない!!


ピクッ
ちゃぷ
コック
あの…イカルガさん腰に何か硬いものが当たっているのですが…これって…
…っ!!
こ…これは…ですね…
ドキ
ドキ
だら
だら
カタ

もしかして小刀ですか？
お風呂の中まで武器を持ち込むなんて陰陽師って大変なんですね

カグヤが無垢な娘で助かった…
ああ…そうなんですよいつ敵が襲撃してくるかもわかりませんから…
しら～…

でも腰に当たって気になっちゃうのでとりあえず小刀はそこに置いちゃいますね
むんず♡
ビクッ
うわぁぁ!!

ビュオオオオ
バタタタ…

イ…イカルガさん…その…
触ってしまって…すみません…
びっくりした…でも…男の人ってあんな大きいのが付いてるの…？普段ぶつけちゃったりしないのかな…？
ぴゃあ〜♡

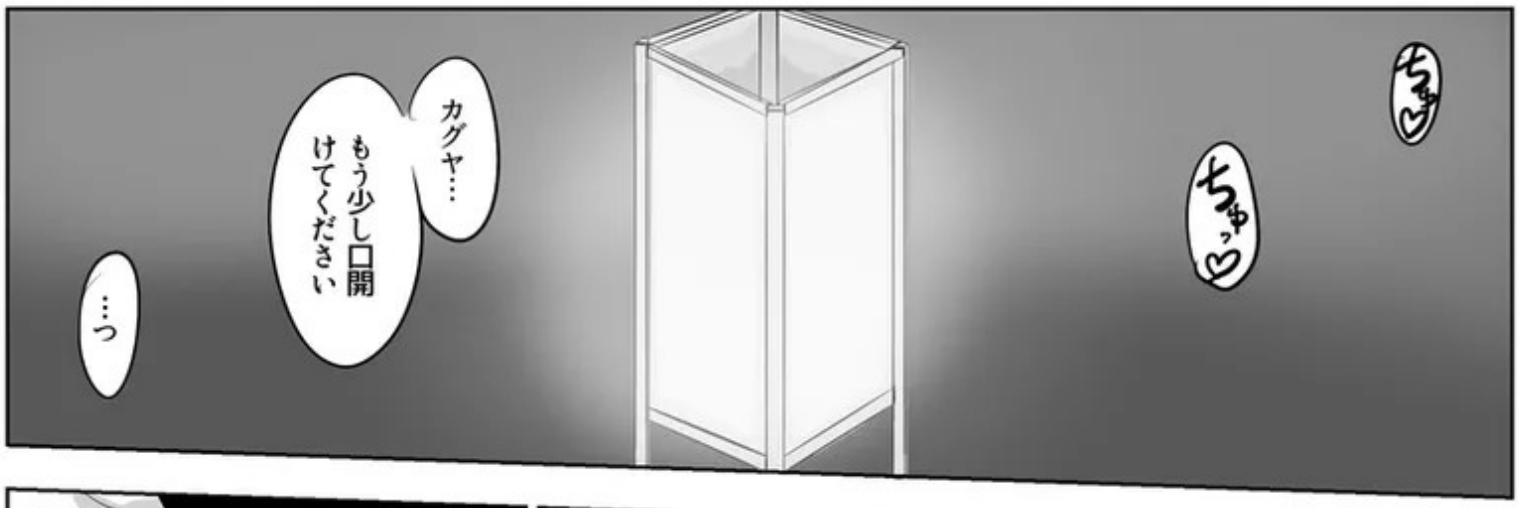
い…いえ…私の方こそ…その…あなたに汚いものを触れさせてしまいました…すみません…
あのような醜態を晒してしまうとは…カグヤの無垢に付け込もうとうとした罰ですね…
ピクッ
ぁぁぁ…

イカルガさん

うわっ！
ふわっ

ふた月も待ったんですから今日はたくさんイチャイチャしたいです
ズーズ
いいですよね？

望むところです
くっ…
可愛い…！
ふっ
ドキ♡ドキ♡


ちゅ♡
ちゅっ♡
カグヤ…
もう少し口開けてください
…っ

ちゅっ♡
はぁ
ちゅっ♡
んっ♡
…っ
ちゅっ♡
ちゅっ♡

ちゅ♡
ちゅ♡

ピク…
れろ♡

はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
……!!

唇も舌も柔らかくて…気持ち良い…頭が溶けそうだ…

ちゅっ♡

れろ♡

くちゅ♡

くちゅ♡

れろ♡

先は想定外のことが起きましたが、理性を…理性を保たねば…

？

そっ

ふくしゅ…

はぁ……まったく…
あなたという人は…どれだけ私を煽れば気が済むのですか…

じっ

はぁ―…

その顔は…分かってやってるんでしょうね…？

そんな目で見つめないでください…

う…？

はぁ…

本当に…仕方ないですね…

途中でやめるなどと泣き言は聞けませんからね…

ビシッ

ガタガッ

ガタッ

外は吹雪で
月影ひとつ望めないというのに

イカルガさん…

それでもカグヤの肌
はまるで月光を宿した真珠のように

これほどまでに耐えてきたのだと思う
理性を盾にして感情という名を与えずにここまで来た

静かにそして疑いようもなく白く輝いていた

……だがその反動だろうか
その白に引き寄せられる手
はもはや自分の意思ですら止められなかった

力を抜いてください

絹のようになどという陳腐な比喩で片付けるべきではないのかもしれない

それほどに滑らかで驚くほど柔らかく……
いやこんなにも心地いいだなんて

イカルガさんの指が…中に入って…

指増やしますよ

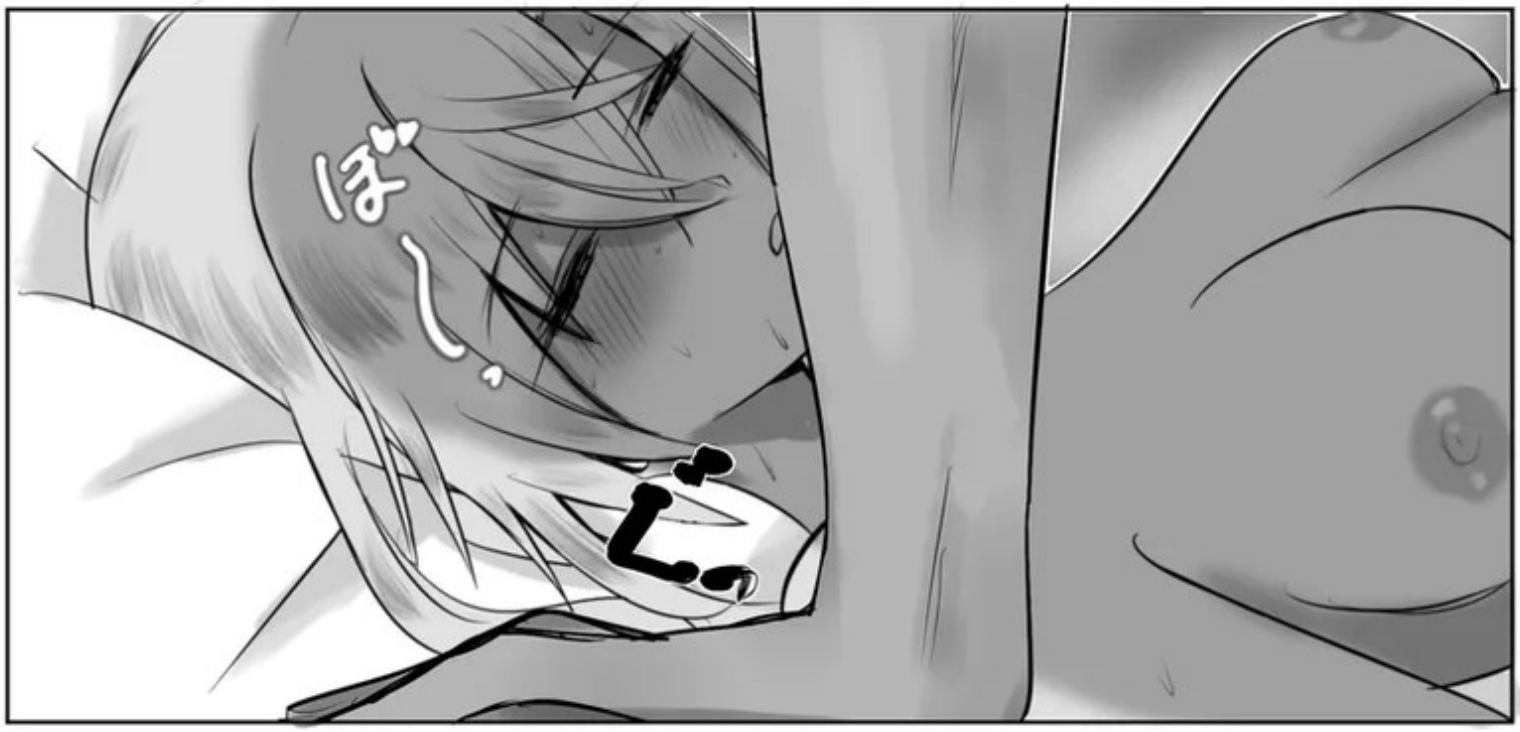
ん？嫌ならやめましょうか？

自分でも少しだけ情けなくなるほどに

あっ
あっ
イカルガさん
ちゃ
ちゃ
ちゃ
ビク
チカ
チカ
チカ
チカ

……ここですか？
あ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ビク
ビク
とろ…

いつも月の女神のように　遠く
気高く在るあなたが　私のこの
手ひとつでこんなに乱れた姿を
見せてしまうだなんて　なんて
煽情的な光景だろうか
カグヤ…
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ


ぼーっ
ビ

…カグヤ

そろそろ我慢の限界です…

ぷにっ

入れますよ
痛かったら言って
ください

ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ

あ…

ぱぁ
ぱぁ
ぱぁ
ぱぁ
くちゅ
くちゅ
ぐちゅ

ぐぐ…
…ッッッ!!
カグヤ…全部…全部入りましたよ…
ぬぷ
あ…っ
ぎゅう
あ♡
んっ♡
ぐぐぐ♡
ぐぐ♡
ビクッ
ぴく
体…つらく…ないですか…？
こ…こんな…脳が…溶け……気持ちがいい…
はぁ♡
はぁ♡
は…
はい…♡

…イカルガさん…好き…

っ!!わ…私もカグヤが…好きです…

イカルガさんのここ…すごく熱い…

な…っ!!

お腹の奥が熱くて気持ち良いです…

ぎゅうう

ぎゅうううう♥

こ…ここが気持ち良いんですか…
カグヤ…
好きです…
私もイカルガさんのことが
大好き…

んっ♡
ぐちゅ♡
ぐちゅ♡
ぐちゅ
ぐちゅ
おっ♡
んあっ♡
もっだめ♡
ぬちゅ♡
ぐぽ♡
ぬちゅ
ぬちゅ
ぐぽ
ッッ♡
ずぽ♡
イッちゃう♡
ずぽ
ずぽ♡
イッちゃ♡
…ッ
愛してますっ…ッ
ぎゅうううっ♡
ビュビュ
ッ！
う
フー
ぱちゅ
ぱちゅ

くたぁ…
ぬロ…
…
なんて愛らしい…
ふら〜…

おーい！カグヤはいるかー？邪魔するぞー？

はっ

丸一日帰ってこないから心配で迎えにきたぞーいるかー…

ふよよ～

すや すや…

オイラの杞憂だったみたいだな…

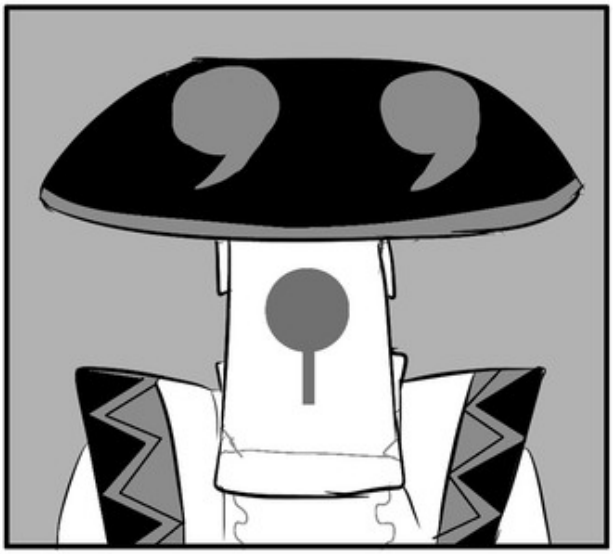
帰るかー…

幸せになれよ…

おわり

おまけ

急に布団が敷かれてたり、2人に布団がいつの間にかかかっていたのはなぜなのか



式神さんがスッとお布団敷いて、全裸で寝ている2人に布団をかけたことにしてください